

1. 共同主催国際会議の募集について（ご案内）
2. 【開催案内】共同主催国際会議「第27回マグネット技術国際会議」
3. 【開催案内】公開シンポジウム
「科学的知見の創出に資する可視化(7)：人間を識り活かす総合知をもたらす「視考」」

■-----
共同主催国際会議の募集について（ご案内）
-----■

日本学術会議では昭和28年度以降、学術研究団体が国内で開催する国際会議のうち、「学問的意義が高く」、「科学的諸問題の解決を促進する」等、特に重要と認められる国際会議について共同主催を行うことにより、学術研究団体への支援・協力を行っています。

この度、令和5年度に開催される国際会議を対象に、【令和3年10月1日（金）～11月30日（火）まで】共同主催の募集を行います。

詳細についてはこちらをご覧ください。

<http://www.sci.go.jp/ja/int/kaisai/entry.html>

※本件問い合わせ先：

日本学術会議事務局 参事官（国際業務担当）付国際会議担当

TEL：03-3403-5731 FAX：03-3403-1755

Mail：sci.kokusaikaigi.h5j@cao.go.jp

■-----
【開催案内】共同主催国際会議「第27回マグネット技術国際会議」
-----■

会期：令和3年11月14日（日）～11月19日（金）[6日間]

場所：福岡国際会議場（福岡県福岡市）

福岡市科学館（福岡県福岡市）／市民公開講座のみ

日本学術会議と公益社団法人低温工学・超電導学会（共同主催団体名）が共同主催する「第27回マグネット技術国際会議」が、11月15日（月）より、福岡国際会議場で開催されます。

当国際会議では、「超電導マグネット技術の革新」をメインテーマに、「高エネルギー物理学向け加速器マグネット」、「核融合向けマグネット」、「医療・ライフサイエンス向けマグネット」、「強磁場発生マグネット」、「電力・エネルギー・輸送向けマグネット」、「マグネット向け線材および材料」、「マグネット設計・解析ならびに関連技術」などを主要題目として、研究発表と討論が行われることとなっており、その成果は、マグネット技術の発展に大きく資するものと期待されます。また、本会議には25ヵ国・地域から約950名の参加が見込まれています。

また、一般市民を対象とした市民公開講座として、11月14日（日）に「極低温と超電導の世界」

が開催されることとなっております。関係者の皆様に周知いただくとともに、是非、御参加いただきますようお願いいたします。

第 27 回マグネット技術国際会議 市民公開講座

「極低温と超電導の世界」

日時：令和 3 年 11 月 14 日（日）9:30～16:30

会場：福岡市科学館 サイエンスホール

参加費：無料

※内容等の詳細は以下のホームページをご参照ください。

○国際会議公式ホームページ

<https://csj.or.jp/conference/MT27/>

○市民公開講座

<https://www.fukuokacity-kagakukan.jp/activity/2021/10/post-157.html>

【問合せ先】

公益社団法人低温工学・超電導学会

Tel : 03-3818-4539、Mail : mt27@csj.or.jp

■----- 【開催案内】 公開シンポジウム

「科学的知見の創出に資する可視化 (7) : 人間を識り活かす総合知をもたらす「視考」

-----■
【日時】 2021 年 12 月 13 日（月）13:00～17:50

【開催地】 オンライン

【主催】：日本学術会議 総合工学委員会 科学的知見の創出に資する可視化分科会

【共催】：立命館大学アート・リサーチセンター 文部科学省国際共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ国際共同研究拠点」、可視化情報学会、日本シミュレーション学会、画像電子学会、芸術科学会、画像情報教育振興協会(CG-ARTS)、情報処理学会 コンピュータグラフィックスとビジュアル情報学研究会、人文科学とコンピュータ研究会、お茶の水女子大学文理融合 AI・データサイエンスセンター

【参加費】 無料

【申込み】 Zoom Webinar の Google Gtom からの参加申込み : <https://qr.paps.jp/6EaGt>

【当日同時配信および後日視聴可能なアーカイブの URL】

立命館大学アート・リサーチセンター Studio ARC :

https://www.youtube.com/channel/UCNIN7ppEMMnF_eoA0PXl2dA

【開催趣旨】

日々生成される多種多様なビッグデータが、科学、社会、文化、教育、そして人間の身体や心にも大きな影響を与える時代になりつつある。その影響は極めて複雑かつ多様である。そのため、多種多

様なビッグデータを統合的に有効活用して総合知を得ることを支援する「可視化」が、今、求められている。そのような可視化により、我々の思考はスピードアップされ、かつ、深化された「視考」となる。シリーズの7回目となる本シンポジウムは、日本学術会議に「科学的知見の創出に資する可視化分科会」が設立されて以来3年半わたって行われてきた、ビッグデータ時代の可視化のあり方に関する議論の総合報告であり、同時に、今後の可視化のあり方に関する様々なアイデアを議論する好機でもある。

【プログラム】

<https://www.scj.go.jp/ja/event/2021/317-s-1213.html>

【問い合わせ先】

連絡先：田中覚（立命館大学情報理工学部教授）

メールアドレス：stanaka@is.ritsumeai.ac.jp

学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから

<http://jssf86.org/works1.html>

日本学術会議ニュースメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

過去のメールニュースは、日本学術会議ホームページに掲載しております。

<https://www.scj.go.jp/ja/other/news/index.html>

【日本学術会議ウェブサイトの常時暗号化について】

日本学術会議ウェブサイトは2021年10月1日より常時暗号化通信（TLS1.2）対応いたします。

新 URL: <https://www.scj.go.jp>

日本学術会議ウェブサイトへのリンク、お気に入り等設定している場合は、お手数ですが「https」への修正をお願いいたします。

【本メールに関するお問い合わせ】

本メールは、配信専用のアドレスで配信されており返信できません。

本メールに関するお問い合わせは、下記の URL に連絡先の記載がありますので、そちらからお願いいたします。

発行：日本学術会議事務局 <https://www.scj.go.jp/>

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34